

◆団体基本情報

No.	20	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市公園緑地協会		
所在地	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪一丁目3-35						
電話番号	022-293-3583		FAX番号	022-293-3605		所管 部局	建設局
団体ホームページ	http://sendai-green-association.jp					部局	百年の杜推進課
代表者職氏名	理事長 千葉 幸喜			設立年月日	昭和42年10月7日		
資本金・基本財産	118,000 千円		市の出捐額(割合)	59,000 千円		(50.0 %)	
設立目的	都市緑化及び公園緑地等に関する事業を通じて、市民生活に安らぎと潤いをもたらし、あわせて緑の文化を発信する。						
事業概要	都市緑化及び公園緑地等に関する普及啓発、利用促進。 公益目的事業の推進に資するための収益事業等。						
評価対象決算期	令和4年4月1日～令和5年3月31日						

◆人員等の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	62.0 歳	63.0 歳	62.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,421 千円	5,548 千円	5,845 千円
④職員数	137 人	139 人	140 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	13 人	12 人	10 人
⑤職員平均年齢	54.8 歳	54.5 歳	55.4 歳
⑥職員平均年間給与	3,484 千円	3,455 千円	3,187 千円

◆主要財務データ

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①当期経常増減額	△ 31,199 千円	△ 14,352 千円	8,928 千円
②当期経常外増減額	0 千円	0 千円	△ 49 千円
③当期一般正味財産増減額	△ 36,547 千円	△ 14,574 千円	8,607 千円
④一般正味財産期末残高	130,172 千円	115,598 千円	124,206 千円
⑤指定正味財産期末残高	59,000 千円	59,000 千円	59,000 千円
⑥正味財産期末残高	189,172 千円	174,598 千円	183,206 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①市からの補助金	13,457 千円	14,088 千円	14,528 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	1,096,860 千円	1,116,267 千円	1,174,103 千円
③市に対する収入依存度	84.36 %	82.31 %	77.34 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和4年度事業費
緑化普及啓発事業	花壇づくり助成事業, 緑化コンクール事業, 記念樹交付事業	35,596 千円
公園緑地等運営事業	野草園, 太白山自然観察の森, 青葉の森緑地, 七北田公園及び各区運動施設公園等の管理運営	694,658 千円
墓園・斎場運営事業	葛岡墓園, 北山霊園, いずみ墓園及び葛岡斎場の管理運営	443,545 千円
収益事業	八木山動物公園等における売店, 食堂, 駐車場の管理運営	345,605 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	令和4年度は, 新型コロナウイルス感染症による施設の休止・休館もなく, 前年度中止となった事業やイベント等を実施し, 施設のPR及び利用促進を図った。また, 絵画及び花壇コンクールの開催, 令和5年度に開催される全国都市緑化仙台フェアの連携事業を実施し, 緑化普及啓発に取り組んだ。葛岡斎場においては, 代替施設がないことから, 感染症対策を徹底し, 安定的な稼働に努めた。	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていたイベント・事業等を再開し, 創意工夫をして各種講座やイベントを開催するとともに, 全国都市緑化仙台フェアに向けた連携事業の実施など, 緑の普及・啓発, 利用促進に積極的に取り組んだ。引き続き次年度以降の活動の充実に期待する。
2. 業務・組織管理	協会の組織・財務強化を図ることを目的として策定した第4次中期経営計画に基づき業務を行った。正職員の採用や非正規職員の割増賃金支給等の待遇改善や年次有給休暇の促進を図り, 組織の強化に取り組んだ。また, 「緑のネットワーク(自主事業等発表会)」を実施し, 情報の共有及びスキルアップに努めた。さらに, 法令順守の取り組みを行い, 組織管理の強化を図った。	第4次中期経営計画に基づき, 安定した運営が行われている。引き続き適切な業務体制の維持やコンプライアンス強化を継続し, 職員の資質やモチベーション向上に取り組み良好な組織風土の醸成に努められたい。
3. 財務状況	令和4年度の財務状況は, 収益事業において新型コロナウイルス感染症による入場制限等が解除され経常増減額が約10,000千円の黒字となったため, 法人全体の当期経常増減額は8,607千円の黒字となった。来年度においても, 収益事業の黒字化に努め, 安定した法人経営に努める。	新型コロナウイルス感染症による入場制限等が解除されたことや, 引き続き収益の確保に努めたことにより黒字転換することができた。今後も自主財源の確保や効率的な事業実施など, より安定した経営に期待する。
4. 今後の方向性及び課題	公益事業においては, 効率的な運営の推進に取り組む。また, 収益事業からの繰入金を資金とした協会独自の事業(自主事業)を引き続き実施し, 市民サービスに務め, 事業活動の強化を図る。さらに, 研修や資格取得など職員の資質向上に取り組み, 専門性を高め, 安定した組織運営を行う。	今後も優位性, 独自性を発揮しながら, より利用者の満足度につながる事業改善や, 収益の向上, 自主事業の取組みに積極的に努めるとともに, 職員の能力向上や管理職への積極登用など管理運営体制の充実に継続して努められたい。